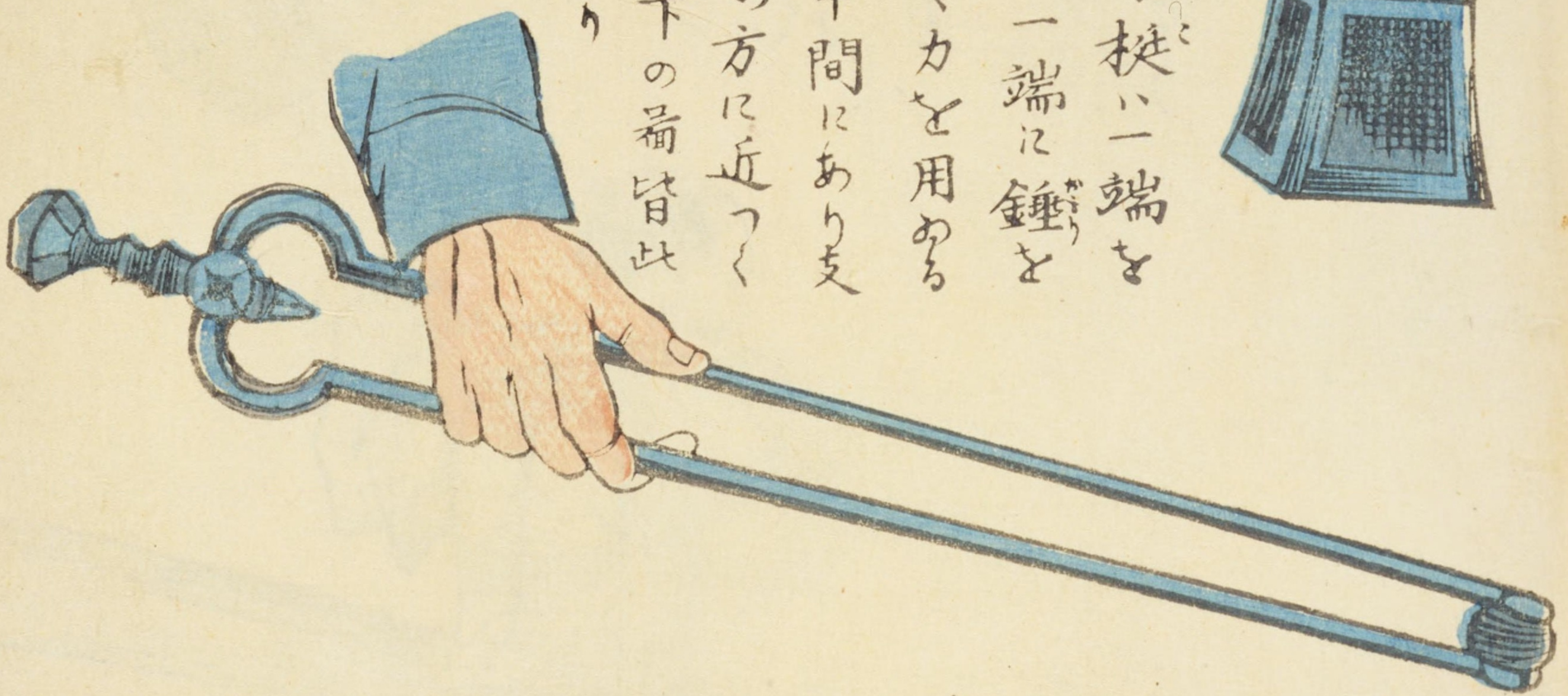


梯子の一端を地に支へ之に起るときの勞少くと
雖もその力を用ゆる所梯子の中央以下にあるゆゑ
多く力を費まき

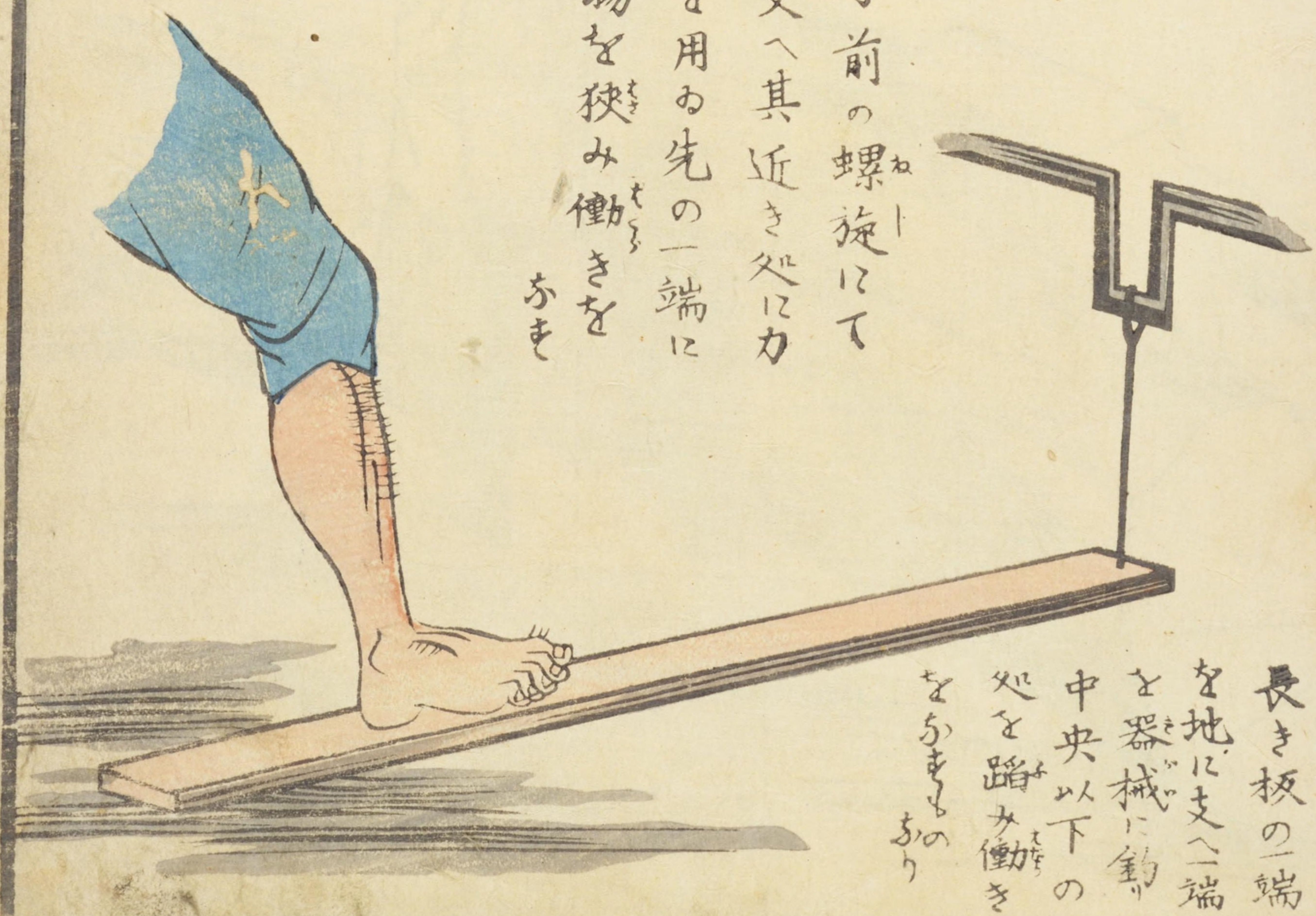




此木杖こぎの一端を
支へ一端に錘つづを
掛く力を用ゐる
所中間にあり支
点の方に近づく
多り下の荷皆此
理あり



手前の螺旋ねじにて
支へ其近き処に力
を用ゐ先の一端に
物を狭み働たくきを
かき



長き板の一端
を地に支へ端
と器械がに釣
中央以下の
処を踏み働たくき
をかきも
あり

木杖の一端を地に支へ之で起すもの勢あり
雖も力を用ゐる所梯子の中央以下にあるもの
なり